

平成 24 年 1 月 24 日

研究者の公正な研究活動の確保に関する  
調査検討委員会報告書の提出にあたって

研究者の公正な研究活動の確保に関する調査検討委員会  
委員長 有馬 朗 人

「研究者の公正な研究活動の確保に関する調査検討委員会」は、本日、報告書を国立大学法人東北大学に提出しました。

本委員会は、二重投稿に関するガイドラインの策定を含む東北大学の研究者の公正な研究活動の確保のための適切な対応の検討と、二重投稿に係る事実関係の調査を行うことをその役割としています。

本報告書にもあるとおり、二重投稿は、捏造・改ざん・盗用のように、科学への信頼を致命的に傷つける本来的な不正行為とは異なるものの、研究者コミュニティにおいて認められない行為であります。研究分野、学協会、論文形態、時代背景によっても認識や基準に差があるなど、規範が成熟していない実情が混乱を招いていることは事実であり、学術雑誌の投稿規程が不備な場合にあってはその整備を行うことはもちろん、研究者の自己管理の促進に努力すべきであると考えます。

したがって、東北大学においても、大学の社会的責任を全うするため、研究者が遵守すべき行動規範等について時代適合性と社会的要請を踏まえて整備し、本報告において指摘した東北大学の材料科学分野の一部に見られた不適切な行為からの脱却に早急に取り組むよう要請するものであります。

なお、井上明久氏を共著者とする論文の本質・学術的価値に対しては、最大の敬意を表するものであります。しかしながら、研究分野、時代背景などによって二重投稿に係る認識や基準に差があったとはいえ、同氏は、新たな材料科学分野を自ら開拓し先導してきた立場にあるからこそ、科学研究に携わる者としてこの機会に猛省をし、研究者として本報告書の提言に則った行動をとるべきであると考えます。

最後に、各委員の皆様におかれましては、お忙しいところにも関わらず長期間にわたる調査検討作業に加え、多くの示唆に富む貴重なご意見を賜りましたことを厚く感謝申し上げます。

以 上